

【南区】令和3年第1回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和3年2月24日(水) 午後2時00分～2時50分
場 所	ウェブ会議システムによるオンライン開催
出席者	<p>【座 長】仁田昌寿議員</p> <p>【議 員：3名】遊佐大輔議員、渋谷健議員、荒木由美子議員</p> <p>【南 区：24名】松山弘子区長、富井孝副区長、 野崎直彦福祉保健センター長、 永木宏一郎福祉保健センター担当部長、 角野智史土木事務所長、小出健消防署長（災害対策担当部長）ほか関係職員18人</p>
議 題	令和3年度南区個性ある区づくり推進費 南区予算案について
発 言 の 要 旨	<p>【荒木議員】 新型コロナウイルス感染症対策の状況報告ありがとうございました。これからワクチン接種も始まり、南区は南公会堂で、ということになりました。市の対応になると思いますが、体制の準備や医師会、病院協会など、南区の高齢者数を考えると対応ができるのか、どう見込んでいるのでしょうか。</p> <p>【森田総務課長】 ワクチンについて、会場は、南公会堂を第一会場として調整しています。医師会とは、健康福祉局が調整しており、第一回の医師会との打合せ時に、基本的には全面協力をしていただけると聞いています。ただ、実際に接種する人が何人で、それに合わせ医師会から何人出していただくというような、具体的な調整までは済んではいないと思っています。その内容によっては、第二会場等も検討をしていくことになろうかと思っています。</p> <p>【荒木議員】 各行政区で困ることとして、特に高齢者でなかなか会場に行かれないという方への対応があると思います。また、300回線と言われているコールセンターの設置があっても、通知後、電話が繋がらなくなると、どうしても区役所に相談があると思うのですが、人を増やしているとはいえ、福祉保健センターは、そんなに余力がある訳ではないと思います。感染症対策と同時進行でワクチンの問い合わせがあったら、パンクすると思いますが、どう見込んでいるのでしょうか。</p> <p>【森田総務課長】 通常のコロナ対応をしている中、4月から接種を始めることとなりますので、区役所はどこの課も繁忙であり、かなり混乱するのではないかと思っています。現時点では、3月1日にコールセンターを市で設置し、3月</p>

発 言 の 旨

下旬から年齢に応じて段階的に通知を出す聞いています。まだ決定ではないのですが、定額給付金の時のように、健康福祉局が人材派遣による相談窓口のようなことも検討をしていると聞いていますので、区としては期待したいと思っています。

【荒木議員】

想定して準備していないと、問い合わせがあっても混乱をしてしまうと思います。ワクチンが手配できるかどうか微妙なので、区民の方々は正確な情報をお知りになりたいと思いますから、大変だとは思いますが、対応をよろしく願いいたします。

続けて、区づくり推進費について、聞きたいと思います。

9 ページの通訳ボランティア配置事業について、タブレット端末を設置し、通訳ボランティアの配置数を見直して、138 万円の減ということは事前に聞いています。一方で、タブレットだけの対応では細かいニュアンスとか伝わらず、対面が必要になると思うのですが、これで乗り切れるという考えなのでしょうか。

【宮崎区政推進課長】

各課からは、通訳ボランティアのほうがタブレットよりも良い、という声があります。通訳ボランティアは、YOKEが育成したボランティアに来ていただくものですが、令和2年度は、コロナ禍の状況でYOKEもボランティアが派遣できないということで、実績はゼロでございました。

ただ、今後はボランティアの中で熱意がある方に、回数は少なくとも来ていただけないか、調整を進めており、令和3年度からは一部、回数は減りますがボランティアに来ていただき、再開することを見込んでいます。

今年度は、ボランティアの代替として、タブレットによる対応を各課で行っていましたが、昨年と比べて、タブレットの利用実績は非常に増えており、代替ではありますが、何も無いよりも良く、役に立っているという現場からの声がある状況です。

【荒木議員】

コロナの影響で、人同士の接触には問題もあって、YOKEからボランティアを派遣できないというのは分かりましたが、できるだけボランティアとタブレット両方利用できるようにしたほうが、利用される方にとって安心だと思いますので、よろしく願いします。

次に、10 ページの健やか元気応援事業ですが、予算が前年度と比較しても倍近く増えていて、力をいれていることがよく分かります。主に（1）健康づくり推進事業で力点を置いたのは、新規の離乳食対応と相談支援にあると思いますが、それぞれどのくらい新規で力点入れて予算化したのでしょうか。

【永峯福祉保健課長】

予算の重点化したところで、離乳食講座は、講師謝金等で10万円ほどです。また、健康づくりの相談支援につきましては、新型コロナウイルス

発 言 の 旨 要 要	<p>感染症対策の消耗品や相談に対しての支援にかかる人材などの委託で、150万円ほど計上しております。</p> <p>【荒木議員】 まだまだ新型コロナウイルス感染症対策には、消耗品等が必要だと思います。また、相談支援について、保健指導も含めて個別に行くのですか、それとも来ていただくのでしょうか。</p> <p>【永峯福祉保健課長】 こちらは、委託会社の方に来ていただいて、一緒に仕事をしていただくものでございます。</p> <p>【荒木議員】 一般市民向けにやるのではなく、福祉保健課での相談支援が重点なのでしょうか。</p> <p>【永峯福祉保健課長】 新型コロナウイルス感染症に関する相談や、電話対応、患者さんへの向き合いなどを一緒にやっていただきます。</p> <p>【荒木議員】 南区は、今のところ職員の感染はゼロなので、よかったと思っています。今後、職員の皆さんにも感染リスクがない訳ではないので、感染者が増えないことを期待したいと思います。</p> <p>次に 13 ページにある（1）認知症の啓発について、こちらもかなり予算が増えていて、新規に、感染症防止を考慮した認知症の啓発として、啓発映像を作成するということですが、これは映像を作ったらどういう形でやるのでしょうか。DVD、レンタル、あるいはウェブ上に載せるなど、どう考えているのでしょうか。</p> <p>【小栗高齢・障害支援課長】 啓発映像の作成につきましては、認知症への理解の促進と認知症の早期の気付きを促すということで、30秒程度の動画を作成し、公共交通機関、具体的には市営地下鉄での放映を考えております。加えて、庁舎でも放映したいと考えております。併せて、市で行っている認知症早期発見モデル事業「もの忘れ健診」がございましたので、こちらの周知も行いまして、早期発見・早期対応の行動につなげたいと考えております。</p> <p>【荒木議員】 最後に、区提案反映制度の提案案件で、1番に書いてある路線バス減便の抑制に資する交通結節点の整備について、事前に話を聞きましたが、なかなか現在の状況で井土ヶ谷駅周辺等を含めて、結節点となる土地を探すのは簡単なことではないと思います。一方で今回、一步踏み込んでいただいたことは、ありがたいと思っています。そこで、今回のワクチン接種もそうですが、区民の方が公会堂や区役所に来るとなると、とりわけ六ツ川</p>
----------------	--

発 言 の 旨

方面から行くとなると、バスの乗り換えなしで行きたいという声もありますので、そう言ったことも含めての見通し、ゴールについて、いつ頃までにどういったことできるか、目標はあるのでしょうか。

【宮崎区政推進課長】

区内に駅は多くありますが、交通広場のようなものがなく、交通の基盤が弱いというのが課題認識であり、少しでも先に進められればということで、今回、局と協力して、令和3年度に検討を進めたいと思っています。ただ、実際には、想定エリアに公有地として具体的なものが今すぐあるという訳ではありませんので、地権者の方たちと、まずは勉強会のような形でスタートをして行きたいということ、また併せて民間事業者の方々の参入意欲等も確かめていきたいと考えています。

目途が立った段階で、地域の皆様のご意見をいただいて、進めて行きたいと思っております。ただ、今の時点でいつまでにというのは、まだはっきりと申し上げることができないので、進ちよくによって、ご相談させていただければと思います。また、なるべく具体的な動きを起こしたいと思っておりますが、まちの将来像というものを関係者の皆さまと共有することも大変重要だと思っております。具体的な動きと合わせて、中長期的な検討状況を共有するというのを並行して進めていきたいと思っております。

【荒木議員】

旧区役所跡地にできればよかったと今更ながら思いますが、新たにこのような考えで整備を検討するというので、踏み込んでいただけたことはよかったかと思えます。まずは、進ちよく状況、勉強会を開くことなどをおし、一步踏み込んでいただき、実を結ぶと良いと思って、注目していますので、是非検討よろしくお願いたします。

【遊佐議員】

端的に何点か伺います。
桜まつりについて、予算も計上されていますし、現時点でどうするかというのは、決まっていますか。

【姫浦地域振興課長】

今年の桜まつりにつきまして、例年は蒔田公園で1日かけて、模擬店等のイベントとライトアップをやっております。今年は、桜まつり実行委員会の方々と話をして、蒔田公園のイベントは中止にさせていただきました。ただ、大岡川沿いのぼんぼり設置とライトアップにつきましては、皆さまに是非桜を楽しんでもらいたいということで、期間と区間を短くし、点灯する時間も短縮して、またライトアップにつきましても、週末の金、土、日のみ開催したいと思っております。

【遊佐議員】

例年ある議員が参加するセレモニーはあるのでしょうか。

発 言 の 旨

【姫浦地域振興課長】

いつも先生方には、セレモニーにご参加いただきまして、ありがとうございます。今回は、人が集まるのはなかなか難しい状況もありますので、申し訳ございませんが、現時点でセレモニーの開催は考えておりません。

【遊佐議員】

次に、ごみについてですが、ステイホームの影響で、廃棄物がかなり増えてという話が前回の当会議でも出ていたと思います。そして、収集される皆さまの安全性、感染を避けるというのは、とても大事な視点だと思います。また、家の前とかでごみを仕分けてくれる方々にも、できるだけごみに触れないよう啓発をやっていただいていると思いますが、改めて前回の当会議から半年ほど経っていますので現況がどうなのか、教えていただけたらと思います。

【須賀資源化推進担当課長】

現在の状況について、相変わらずごみ量は減っておりません。例年ですと、お正月が開けて、1月半ば過ぎから2月にかけては、年間を通して一番ごみ量が少ない時期ですが、ごみ量は落ちないという状況です。分別がされていないかというところではなく、びん・缶、プラスチック類についても増量が続いている状況です。

職員の感染予防対策としては、新たに非接触型の体温計を購入し、毎朝職員一人一人が検温をしており、かつアルコール消毒を行っております。また、区民の方に向けては、引き続きマスクは、できれば二重で出いただくこと、ごみは飛散しないように、空気をしっかり抜いて、袋の口を縛っていただくという方法を広報よこはまなどの媒体で周知しております。

【遊佐議員】

なかなか人と人とが接触して集まる機会というのが減っているので難しいとは思うのですが、医療現場の皆さまもそうですが、最前線の収集員の皆さんも、ほぼ毎日回収に来てくださる訳ですから、少しでも感染を防ぐことができればと思います。もし、本局でも何かお手伝いできることがあれば言っていただければと思います。

最後に、ワクチンについて、公会堂でやることによって、区役所にも多くの方が訪れると考えています。まだ不確定情報が多い状況の中では、なかなか確定的な情報を出すことができないと思いますが、せつかく区役所に来てくださった方に、これを機会と捉えて、業務の支障にならないような範囲内で、何かプラスアルファでお伝えできることはないでしょうか。区役所の中で、たぶん1階の受付の方とかすごく大変だと思います。これから公会堂にも多くの方がいらっしゃり、窓口案内も必ず通ると思います。

是非頑張って、総力を結集してピンチを何とか一緒に乗り切れるように協力というか、何かいい方法はないのかと悩むところですが、区長いかがでしょうか。

発 言 の
要 旨

【松山区長】

大変温かいお言葉ありがとうございます。公会堂でワクチンを実施するという事は、ほぼ決まっておりますので、多くの方が4月以降来庁されるということでございます。一義的には健康福祉局が対応するという事でございます。また、ワクチン接種が始まる前から、ご心配、ご不安、ご質問がある方が区役所に来庁されるかもしれません。こういった対応も、局のほうで考えているとも聞いておりますので、4月になる前からどのような対応ができるか、あるいは、4月以降はなおさら、しっかり動線をどのように確保するのかなど、また、遊佐議員がおっしゃっていただきましたように、この機に何かプラスアルファができないのか、様々なことを区としても考えて行きたいと思っております。何よりも安心してワクチンを接種していただけるように、区役所としてもしっかり対応していきたいと思っております。

【仁田議員】

最後に私から端的に何点か伺います。

まず、4ページ。防災啓発事業ですが、これは自助・共助の啓発ということで、重要な事業だと思っております。昨年は、自治会に対してご近助講座、中学生には中学生講座と記載がありましたが、今年は自治会町内会並びに若年層を対象にして防災出前塾というのを開催すると。内容については、特に切り分けることなく、何か具体的なことを行うのでしょうか。

【森田総務課長】

防災出前塾に関しましては、今年度、新型コロナウイルスの影響でなかなか実施できませんでしたが、赤ちゃん学級などの場で9回ほど行いました。ただ、例年行っていた中学生向けの講座等は、残念ながら今年度ではできませんので、来年度は新型コロナウイルス感染症の状況によるところもありますが、中学生を含めた低年齢層の方や自治会町内会に対して、引き続き防災の出前講座を行いたいと思っております。

【仁田議員】

確認ですが、若年層とは、例年どおり中学生と捉えてよいのでしょうか。

【森田総務課長】

はい、そうでございます。

【仁田議員】

次に、先ほど荒木議員からもありました10ページの健やか元気応援事業について、今回の趣旨は、若い頃から生活習慣病の予防などに視点を当てているということですが、南区の大きな特徴で、残念ながら男女共に、いわゆる健康寿命、健康でいられる期間に大きな課題があり、ある程度年齢の高い方への対応がとても大事であると思っております。昨年あまりこの点についての拡充が見られず、これからの若い方に焦点を当てるとい

うのも大事なことはと思いますが、生活習慣病、また現在抱えている課題の状況を改善していくということへの施策に関しては、従前と同じという考えに至った背景はどういうことでしょうか。

【永峯福祉保健課長】

南区は、生活習慣病のリスクの高い方が大勢いらっしゃるということで、兼ねてから生活習慣病の予防として、健康診断の診断票の読み方や、それを読んで改善していく講座の開催などに取り組んでまいりました。昨年からは、若い方にも関心を持っていただくということを始めますが、その講座の中で併せて高齢者の方も受講していただくような仕組みも作っております。3年度、新たに始めようとしている野菜摂取量の測定につきましては、若い方だけではなく高齢の方にも、お野菜の摂取量と健康の関係について考えていただく等の取組を考えております。若年層だけではなく、どの世代の方にも健康について、更に関心を高めてもらえるよう取り組んでまいりたいと考えております。

【仁田議員】

今後是非、両方の視点を持って進めていただきたいと改めて要望しておきたいと思います。

以上ですが、各議員、全体でよろしいですか。

それでは他にご発言もないようですので、この程度に留めたいと思います。